

---

# Koi Story

ゆりか

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Koi Story

### 【ZPDF】

Z62010

### 【作者名】

ゆりか

### 【あらすじ】

恋する男女のショートストーリー

## 思い出のあの場所へ……（前書き）

一話完結の話ばかりです。  
どうぞ気軽に読んでいって下さい。  
よろしくお願いします。

## 思い出のあの場所へ……

初めての出会いは平凡だった。

恋愛に奥手だった僕は彼女とゼミで知り合った。

出会った当初は、 可愛い人だな と思つ程度だった。

帰りの電車道、階段を上るのが面倒なのでエレベーターを使った。

そして、エレベーターの中に彼女はいた。

エレベーターの中で話そつかどうか迷った。

だって、可愛い子だとは思つていたが名前さえよく知らない。

あの子だって、話しかけられたら面倒くさいかも知れない。

今思えば何であの時話しかけられたのか……今でも不思議に思つて

る。

「お疲れ！この電車なんだ？」

笑顔で言つ僕。彼女は笑顔で答えてくれた。

「お疲れ。 そうだよ。 家がS市だから……」

「S市なんだ！俺もだよ。 どこの中学だったの？」

「うちはずっと私立のS学園だよ」

「そつなんだ……」

今ではどんな会話かは覚えていないけど、同じ地区に住んでいりと  
いうだけで凄く親近感が湧いたのは覚えている。

帰つた後、彼女がどんな子なのか凄く気になり始めた。

気がつけば色々な所で接点があつて、たびたび一緒に電車に乗つて  
いることもあるような気がした。

何での時、彼女を見ていて何も覚えてなかつたんだらう。  
ゼミで彼女を見るたび、想いは募つていつた。

話しかけられるたび、笑つたびにその気持ちは強くなつていつた。

ある時、「一緒に勉強しようよ」と誘われた。

その時は舞い上がっていて、汗が止まらなかつた。

「やっぱり、大丈夫」と言われて凄く後悔したつ

自分は何もしてなかつたけど何か悪いことしたのかなと思つて

告白しようと思つて、電車で待ち伏せして……

いざその場面になると、勇気がでなくてそのまま別れで……

でも、 やっぱり告白しなきや と思つて彼女の後を追つて……

戻つてくる僕を見て、「どうしたの?」とびっくりした声

告白をして嬉しそうに「ありがとう!」といつ声

帰り際、「メールするね」と言つてくれた声

今でもその時のことを想いだすと、胸が締め付けられる。

いつも彼女は僕にチャンスをくれていた気がする。

僕が変わるチャンスを……

今僕を見てほしい、そう想つて今でも告白した場所を通る。

でも、君は今別の場所にいる。

何でもっとあの瞬間を大事にできなかつたんだら……

もし、あの場所で偶然出会つたら…… そう僕は心に秘めて今日もまたあの場所を通る

遅くなつてゴメン……でも、待つてたよ

8月1-2日 13:15……

私はいつもあの場所での人を待つ。  
それがいつしか習慣になつてしまつた。

思えば、私はいつも待たせていた。

メールの返事

告白の返事

デートの待ち合わせ時間

いつもあのを後回しにしていた。

友達 部活 家族 バイト

なんでもっと大事にしてあげなかつたんだろう  
なんでもっと大切にできなかつたんだろう  
なんで気持ちに応えられなかつたんだろう

いつも私を大事してくれたのに  
いつも私とのことを大切してくれたのに  
いつも私のことばかり考えてくれていたのに

幸せだつたと

幸せだつたんだと  
いつも私は遅れて氣づく

私はいつも遅刻していたから

今度は私があなたのことを待つよ

そして、いつか…いつかもしあなたが来たら

5年後の13:15…

いつものあの場所で私はあの人を待つ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6201o/>

---

Koi Story

2010年11月9日05時09分発行